

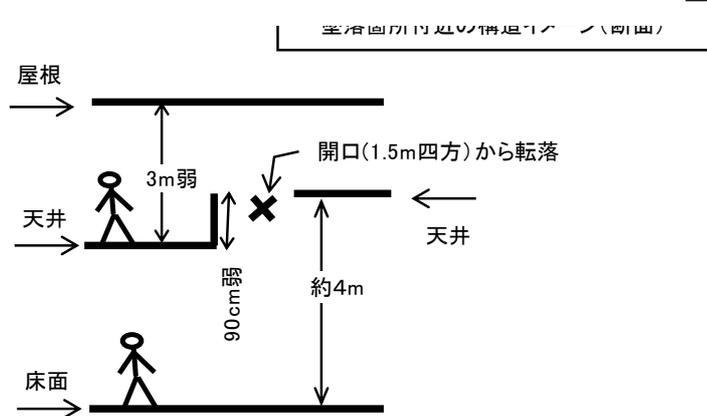
配管工が工場の天井開口部から転落し死亡！

— リスクアセスメントの対象範囲を広げよう —

- ☆ 平成21年6月11日（木）午後4時ころ、白石市福岡所在のとうふ工場建設工事現場で、配管工の男性作業員（48歳）が誤って転落し、翌日、収容先の病院で死亡する事故がありました。
- ☆ 元請は仙台市太白区所在の地場店社、被災者所属会社は配管作業を行なう2次下請です。
- ☆ 工事は、とうふ工場（鉄骨平屋建て）を新築するもので、工期は今月末までを予定しており、ほぼ9割の進捗状況でした。
- ☆ 当該工場の天井裏には配管等が敷設された空間があります。
また、天井裏は全体がフラットではなく、一部は、ステージ状に一段高くなった部分（以下、「高い部分」と称します。）がありました。高い部分と他の部分との段差は約90cm弱です。
天井と屋根の空隙は、高い部分で約2m弱、他の部分で約3m弱となっていました。
天井から工場1階床面（コンクリート）までは、高い部分で約4mでした。
- ☆ 天井裏の高い部分の一部に、工事で荷あげ作業に使う1.5m四方の開口部がありました。
- ☆ 被災者は、午後の休憩後に作業箇所へ移動しましたが、経路脇にある前記開口部から1階床へ転落し頭部を損傷したものです。
- ★ 被災者が歩いた軌跡は、作業箇所への最短経路から若干離れていたようですが、なぜそのような軌跡を選んだかは、まだわかっていません。特に資材や道具が置かれてはいなかった模様です。
- ◎ 通路からやや離れた位置の開口部ですが、高い部分にあがったあと、例えば、1階で不振な物音がしたなど、開口部へ近寄ることも考えられますので、施工時のリスクアセスメントにおいては、開口部養生の必要性や、開口部を埋める時期等についても検討することが望ましいと思われます。

'09.6.12 河北朝刊

■ 作業中に落下、男性重体 11日午後4時ころ、白石市福岡長袋、溶接配管工菊地達也さん（48）が自宅近くの白雪とつ蔵王工場の新工場建設現場で、天井裏の水道配管の作業中、約4m下のコンクリート床に転落し、頭などを強く打って意識不明の重体。白石署で原因を調べている。



'09.6.13 河北朝刊

■ 転落で重体の男性死亡 白石市福岡長袋の白雪とつ蔵王工場新工場建設現場で11日、転落事故のため意識不明の重体となっていた近くの溶接配管工菊地達也さん（48）は12日、頭部損傷のため搬送先の白石市の病院で死亡した。

